

第8回（平成23年度） 日本原子力学会北関東支部 技術功労賞

「第8回（平成23年度）日本原子力学会北関東支部技術功労賞」の選考においては、以下の2件につきまして、選考委員会を組織し、北関東支部技術功労賞規定に基づいて審議を行いました。その結果、それぞれ2件とも技術功労賞に該当するとの結論を得ましたので、ご報告いたします。

本賞は、北関東支部管内において原子力に関する研究開発施設やプラントの運転管理、安全確保等の技術支援分野において優れた貢献をした個人または団体に対して、その功労をたたえるものです。

受賞者・受賞団体及び受賞概要

1. 日本原子力発電株式会社東海第二発電所（代表：釧田 裕史）

- 受賞案件名：「東海第二発電所における使用済燃料乾式貯蔵施設の長年にわたる運用と貯蔵技術確立への貢献」
- 受賞概要：使用済燃料乾式貯蔵施設の安全な維持管理に努めると共に、貯蔵燃料の長期健全性に係る重要な判断根拠を提供するなど、軽水炉使用済燃料の長期貯蔵技術確立への多大な貢献をした。

2. 日本放射線エンジニアリング株式会社（代表：須藤 茂男）

- 受賞案件名：「放射線安全管理のための技術開発および機器運用・保守技術の確立に向けた先導的貢献」
- 受賞概要：原子力安全機器や放射線測定機器の開発、原子力研究施設の建設・保守を通じて原子力技術の発展・向上に長年貢献するとともに、数多くの特許を取得し、放射線安全管理技術の改善にも多大の貢献をした。

以上